

外国語科 学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇時限

2. 学年 第2学年

3. 科目・単元（題材）名 英語コミュニケーションⅡ

Lesson 2 A Message from Emperor Penguin

※使用図書は、教科書：LANDMARK Fit English CommunicationⅡ（啓林館）

4. 単元の目標

【知識及び技能】

- ・コウテイペンギンの生態や習性について書かれた英文を聞いたり読んだりして、内容を的確に理解する。
- ・本文中の語彙や表現、文法項目（現在完了、助動詞＋受動態、現在完了進行形など）について理解し、適切に使う技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・本文中の登場人物の会話の場面を想定し、コウテイペンギンの生態や習性について相手に興味や理解を深めてもらえるように、英語で書いたり話したりして表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・自分の考えや気持ちなども交えながら、コウテイペンギンの生態や習性について相手に興味や理解を深めてもらえるように表現しようとしている。
- ・クラスメートの発表を聞いたり、自分の発表を振り返ったりして、より良いコミュニケーションを図ろうとしている。

5. 教材観

コウテイペンギンの生態を扱った本単元の内容は、生徒が親しみを感じ、興味をもちやすいものとなっている。一人称での語りの形式で書かれている点を生かして、「なりきり音読」や「なりきりインタビュー」など、ロールプレイを通して生徒が主体的に取り組めるような言語活動を行うことが可能である。また、コウテイペンギンについて学ぶことを通して、世界中の生き物や地球の環境問題等にも考えを巡らせることができる内容となっている。

6. 生徒観

（省略）

7. 指導観

これまで生徒が英語を「読む、聞く、書く、話す」といった4技能にわたる言語活動を多く取り入れ、それらの活動を通じた英語の理解と定着をめざして指導してきた。本単元においても、ロールプレイによる言語活動が最終ゴールであることをふまえて、どのような力を伸ばすための活動なのか、毎時間の目的と目標をしっかりと定めた上で生徒に示し、それらを達成することで生徒一人ひとりが「英語で〜す

ることができた」という達成感を積み重ねていける授業展開をめざす。

8. 単元の評価規準

【聞くこと・読むこと】の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙、文法項目（現在完了、助動詞＋受動態、現在完了進行形など）、本文の文構造を的確に理解している。 ・正確な発音、リズム、イントネーションを聞き取り、適切に本文を音読できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンについて説明するために、その生態や習性について書かれた英文を聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンについて説明するために、その生態や修正について書かれた英文を聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えようとしている。

【書くこと】の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンの生態や習性について、既習もしくは新出の語彙や表現、文法項目（現在完了、助動詞＋受動態、現在完了進行形など）を用いて書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にコウテイペンギンについての興味や理解を深めてもらえるように、その生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にコウテイペンギンについての興味や理解を深めてもらえるように、その生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、書いて伝えようとしている。

【話すこと（発表）】の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンの生態や習性について、既習もしくは新出の語彙や表現、文法項目（現在完了、助動詞＋受動態、現在完了進行形など）を用いて話して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にコウテイペンギンについての興味や理解を深めてもらえるように、その生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話して伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にコウテイペンギンについての興味や理解を深めてもらえるように、その生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話して伝えようとしている。

9. 単元の指導と評価の計画 (全 12 時間)

(● : 形成的評価、○ : 総括的評価)

時間	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)	評価の観点			主な評価規準【観点】(評価方法) 等
		知	思	主	
第1〜4時 (本時は第4時)	<p>Part 1, 2</p> <p>■教科書本文を読んで、コウテイペンギンの生態や習性についてインタビュー形式で話して伝えることができる。</p> <p>①新出語彙を確認する。 毎時、ペアで英語を日本語で、日本語を英語で答える活動を、制限時間を設けて行うことにより、語彙の定着を図る。</p> <p>②本文の内容、ターゲット文法、文構造を理解する。 ・本文の音声を聞いて、コウテイペンギンについて聞き取れたことをペアで共有する。 ・本文を読み、必要な情報(コウテイペンギンの生態など)や文法項目(現在完了、助動詞+受動態など)について理解する。</p> <p>③ペアで本文の音読練習を行う。 ・チャンクごとに日本語と英語を併記した音読練習プリントを用いる。英語は語句が一部空欄になっている(虫食い音読)。 ・ペアで音読する際、1人(生徒A)はプリント全体を見ながら日本語を読み、もう1人(生徒B)は英語だけを見て、空欄に適切な語句を補いながら音読する。 ・生徒Bが空欄に適切な語句を補えない場合は、生徒Aがヒントを出すなどして、ペアで協力しながら音読練習を進める。</p> <p>④本文の情報をまとめる[ライティング]。 ・Q&A形式のワークシートで、コウテイペンギンの生態について、本文の情報をもとに英語で要点を書く。</p> <p>⑤本文中の登場人物に聞いてみたいことを各自で考え、英語で質問文を書く。</p> <p>⑥まとめた情報を伝え合う[インタビュー]。 ・Q&A形式のワークシートにまとめた内容について、インタビュー形式で登場人物になりきってペアで話して伝え合う。 ・各自で考えた質問についても、登場人物になりきって、想像力を働かせながら答える。</p>				<p>・正確な発音、リズム、イントネーションを聞き取り、適切に発音している。【知】(観察)</p> <p>・コウテイペンギンの生態や習性について書かれた英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉えている。【思】(ワークシート)</p> <p>・コウテイペンギンの生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを話して伝え合おうとしている。【主】(観察)</p>

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。

第5
〜
10時

Part 3, 4

■教科書本文を読んで、コウテイペンギンの生態や習性についてリテリング形式で話して伝えることができる。

①新出語彙を確認する。

毎時、ペアで英語を日本語で、日本語を英語で答える活動を、制限時間を設けて行うことにより、語彙の定着を図る。

②本文の内容、ターゲット文法、文構造を理解する。

- ・本文の音声聞いて、コウテイペンギンについて聞き取れたことをペアで共有する。
- ・本文を読み、必要な情報（コウテイペンギンの習性など）や文法項目（現在完了進行形など）について理解する。

③ペアで本文の音読練習を行う。

- ・チャンクごとに日本語と英語を併記した音読練習プリントを用いる。英語は語句が一部空欄になっている（虫食い音読）。
- ・ペアで音読する際、1人（生徒A）はプリント全体を見ながら日本語を読み、もう1人（生徒B）は英語だけを見て、空欄に適切な語句を補いながら音読する。
- ・生徒Bが空欄に適切な語句を補えない場合は、生徒Aがヒントを出すなどして、ペアで協力しながら音読練習を進める。

④本文の情報を再確認する〔ディクテーション〕。

- ・ディクテーションを通して、コウテイペンギンの習性を説明するために必要な表現を再確認する。

⑤本文の内容についてもっと知りたいことなどを各自で考え、質問を英語で書く。

⑥本文の情報をまとめ、伝える〔リテリング〕。

- ・イラスト入りのワークシートで、本文の要点を英語で書いてまとめる。その内容についてイラストを見ながらペアで話して伝え合う。
- ・各自で考えた質問についても、想像力を働かせたり自分で調べたりしながら答える。

時間必ず行う。

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎

・正確な発音、リズム、イントネーションを聞き取り、適切に発音している。【知】（観察）

・コウテイペンギンの生態や習性について書かれた英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉えている。【思】（ワークシート）

・コウテイペンギンの生態や習性について、聞いたり読んだりしたことを話して伝え合おうとしている。

【主】（観察）

第11時

パフォーマンス課題（「書くこと」）※

○

●

※

第12時	パフォーマンステスト（「話すこと（発表）」）※			○	※
後日	定期考査〔ペーパーテスト〕	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法項目（現在完了、助動詞＋受動態、現在完了進行形など）、本文の文構造などを的確に理解している。【知】 ・この単元で扱った内容などを活用し、英文の概要や要点を捉えたり、自分の考えなどを書いたりしている。【思】

※第11時及び第12時の内容については次の「10. パフォーマンス課題及びパフォーマンステスト」に詳述。

10. パフォーマンス課題及びパフォーマンステスト

（1）内容

教科書本文に登場するペンギンたちになりきって、コウテイペンギンの生態や習性について自分の考えや気持ちなども加えて伝える。

（2）指示内容及び実施内容

第11時（パフォーマンス課題）

- ①3～4人のグループに分け、グループで協力してスキットの原稿を作成する。その際の指示は以下のような内容とする。

教科書本文に登場するペンギンたちの役（4人のグループはナレーションの役割を追加）になりきって、コウテイペンギンの生態や習性についてスキット形式で伝えるパフォーマンステストを次の時間に行います。この時間はグループで相談しながら、スキットの原稿を完成させてください。スキットの中で、①コウテイペンギンの生息環境や特徴、②「ハドリング」という習性、③コウテイペンギンの子育ての仕方の3点について伝えましょう。また、聞く人に興味をもってもらえるように、登場するペンギンたちの関係性に注目して相応しい表現を考えたり、自分なりに感情をこめたセリフを追加したり、みんなが知らないような情報を加えたりしましょう。

- ②スキットの原稿を作成した後、スキットの練習（リハーサル）をする。その際、改良点が見つければ適宜修正しながら原稿を完成させる。

第12時（パフォーマンステスト）

- ①生徒に評価シートを配付する。
- ②第11時のグループは1グループずつ前に出て、クラス全体に対し、前時に完成させたスキットを実演する。発表者以外は評価シートに気付いたことなどをメモしておく。
- ③全てのグループの発表後、自分のグループで集まって評価シートを持ち寄り、自分のグループで作成したスキットと比較して良かった点などを伝えあう。


- ④必要に応じて教員からの全体的なフィードバックを行う。
- ⑤生徒はリフレクションシートにパフォーマンステストの自己評価と振り返りを記入する。
- ⑥スキット原稿とリフレクションシートを回収する。

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

第 11 時 (パフォーマンス課題)


条件：教科書の内容をもとに、①コウテイペンギンの生息環境や特徴、②「ハドリング」という習性、③コウテイペンギンの子育ての仕方の 3 点について適切に伝えること。

○思考・判断・表現 (「書くこと」) について、スキット原稿を以下のルーブリックで評価する。

「十分満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C)
自分の役割に応じた表現や自分なりの感情をこめたセリフ、新しい情報などを加えて、条件に示された 3 点について適切に書いて伝えている。	コウテイペンギンについて条件に示された 3 点について適切に書いて伝えている。	B を満たさない。 
<u>「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒への支援のてだて</u> <ul style="list-style-type: none"> ・音読練習で意味を理解しながら英語の表現を定着させる。 ・ワークシートを用いて教科書本文の主要な情報や使いやすい表現に注目させる。 ・グループ内で助け合うことを促す。 		

第 12 時 (パフォーマンステスト)

○主体的に学習に取り組む態度 (「話すこと (発表)」) について、スキットの発表を以下のルーブリックで評価する。

「十分満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C)
ほとんど原稿を見ずに、自分の役割に応じた表現や自分なりの感情をこめたセリフ、新しい情報などを加えて、条件に示された 3 点について適切に話して伝えようとしている。	コウテイペンギンについて条件に示された 3 点について適切に話して伝えようとしている。	B を満たさない。 
<u>「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒への支援のてだて</u> <ul style="list-style-type: none"> ・音読練習で登場人物になりきって読むことを意識させる。 ・ペアワークでオリジナルの質問にも間違いを恐れず答えてみるよう促す。 ・スキット原稿を繰り返し音読練習することで、発表に向けての自信を持たせる。 		

11. 本時 (第 4 時) の展開

(1) 本時の目標

教科書本文を読んで、コウテイペンギンの生態や習性についてインタビュー形式で話して伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・本文の内容を理解しながら、正確な発音、リズム、イントネーションで適切に英文を音読することができる。【知】(観察)

- ・コウテイペンギン特有の集団行動である「ハドリング」について、本文の概要や要点を捉えている。【思】(ワークシート)
- ・コウテイペンギン特有の集団行動である「ハドリング」について話して伝え合おうとしている。

【主】(観察)

(3) 本時の準備物

教科書、ワークブック、音読練習プリント、Q&Aワークシート、リフレクションシート、パソコン及び授業用スライド、スクリーン

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 3分	<p>【ウォーミングアップの帯活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に関連するイラストや写真をペアの片方が見て、相手に示されたモノが何かを英語で説明する。 	英語を話す雰囲気をつくる。	間違いを恐れず自分の考えなどを伝えようとしている。【主】(観察)
展開 37分	<p>【新出語彙・表現 (復習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙・表現の確認をする。 ・ペアで英語から日本語にしたり、日本語から英語にしたりする練習をして、定着させる。 <p>【本文の文構造理解 (復習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した文法項目 (助動詞+受動態) を含むターゲット文の文構造について理解を深める。 <p>【本文の音読練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読練習プリントを使って教員のあとに続き音読練習をする。 ・音読練習プリントを用いて、ペアで音読練習をする。 <p>※音読プリントはチャンクごとに日本語と英語が併記され、英語の方は一部空欄となっている。ペアの片方が日本語を読み、相手は空欄に適切な語句を補いながら音読練習をする。役割を変えてもう一度行う。</p> <p>【本文のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の要点にかかわる重要な英語表現を本文から探し出す。 ・Q&Aワークシートを用いて、「ハドリング」についての質問 (例: When do you 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の反応に応じて単語の意味や発音を考える時間を調整する。 ・覚えきれていないような語彙・表現は反復回数を増やす。 ・構造をチャンクごとに捉えるように促す。 ・教員の発音をしっかりと聞いて、発音するように促す。 ・チャンクごとに意味を捉えるように伝える。 ・語数指定をすることで取り組みやすくする。 ・文構造と内容の理解が不十分な生徒をフォロー 	<p>正確な音声、リズム、イントネーションを聞き取り、適切に発音している。【知】(観察)</p> <p>文法項目 (助動詞+受動態) や、本文の文構造を理解している。【知】(観察)</p> <p>ペアで協力してより正確に本文を理解し、適切に音読している。【知】(観察)</p> <p>コウテイペンギンの「ハドリング」という習性について、本文の要点を書いて伝えてい</p>

	<p>do “huddling?”) に対する答えを英語で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文に登場するコウテイペンギンのベンにインタビューできるとしたら、聞いてみたい質問を自分で考えて英語で書く。 <p>【表現 (ロールプレイ・インタビュー)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員のあとについてインタビューの質問文の発音を練習する。 ペアでインタビュアーとベンになりきって英語でインタビューをし、本文の内容について伝え合う。 	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使ってキーワードに注目させる。 ワークシートにあるビジュアルエイドを用いて想像を促す <ul style="list-style-type: none"> インタビュアーとベン (教科書本文に登場するコウテイペンギン) になりきるように指示する。 何度かペアを変える。 ベンになりきって、インタビュアーの質問に想像力を働かせて答える。 	<p>る。【思】(Q&Aワークシート)</p> <p>「ハドリング」という習性について、聞いたり読んだりしたことを活用して伝え合おうとしている。【主】(観察)</p>
<p>ま と め 5分</p>	<p>【本時の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> リフレクションシートを使って本時の活動を振り返り、自己評価を行う。 <p>※リフレクションシートには、本文の内容を理解できたか、その要点を話して伝えることができたか等、本単元の目標を記載している。また、自分ができるようになったことや分からなかったこと、次に向けての目標などを書く欄が設けられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業でできたことを実感できるようにフィードバックする。 	<p>自分の活動を振り返り、より良いコミュニケーションにつなげようとしている。【主】(リフレクションシート)</p>